

2021年度第7回 外洋常任委員会 議事録

開催日；2022年2月25日（金）18:00～19:20

会議の場所及び方法：WEB会議（Zoom）

出席者：（理事）

中澤信夫 副会長、中村隆夫 副会長、大村雅一 常務理事、望月宣武 常務理事、平松隆 理事、橘田佳音利 理事、新田肇 理事、中村和哉 理事、菊池邦仁 理事、安田大助 理事、岩瀬善貞 理事

（委員会関係）

川合紀行 外洋計測委員長、三浦信郎 レース委員会外洋小委員会委員長

日下部大蔵 ルール委員会外洋規則小委員会委員長

金子純代 キールボート強化委員長、服部好彦 ジャパンカップ委員会委員長、

作田智恵子 艇登録WG長、坂谷定生 参与、

鈴木一行 オリピック外洋小委員会委員

鈴木保夫 外洋事務局長、

小山悟 外洋艇登録事務局長

記録者 鈴木保夫

大村常務理事の進行で18：00より開始した。

・中澤副会長開会挨拶

次期理事選挙立候補者届は締め切られ、会長候補は1名、選挙理事は11名の定数以内の10名の立候補の為、無投票となり近日中には決定となる。

馬場会長が河野前会長の後を引き継いで2期目となるので、馬場会長のモットー、ATM、明るく、楽しく、前向きに、で皆様のご協力を宜しくお願いします。

議事

1. 通信委員会 通信委員会メンバー

大村常務より通信委員長として坂口氏、他に4名の通信委員リストが紹介され、26日の理事会に審議事項として付議されている運営規則の改正に通信委員会の新設及び委員リストが含まれていることが報告された。

2. キールボート強化戦略

大村常務：明日の理事会で審議される、中期戦略の中にキールボート強化戦略が入っている。

外洋常任委員会提案の、チームレースとオフショアの2つを入れている。
4月以降、常任委員会の中で取り組んでいきたい。

3. 外洋常任委員会 事業計画・予算

大村常務より1月の外洋常任委員会で提示した事業計画と予算案が財務委員会のヒアリングで承認され、明日の理事会で審議されることが報告された。

4. 外洋ダブルス日本選手権

大村常務より資料に基づき以下の概要説明がなされた。

スタートは5月1日、艇の大きさの参加基準はLOAではなくTCCとする。
公示にオートヘルムの使用について記載。
実行委員長は中澤副会長が務める。

5. サバイバルトレーニング

大村：1月に2回やる予定だった2回目のトレーニングはコロナの感染状況から、3月に延期したがコロナの終息が見通せないことから中止とし、秋から年明けにかけて開催することで検討している。

なお、1回目の受講者の講習会体験記をJSAF ホームページに掲載した。

6. ジャパンカップ

服部：リビエラと交渉しているが、リビエラからの進捗報告がまだない。
進捗が有り次第報告する。

7. 艇登録WGの解散

大村：艇登録WGは新しい規則が決まり、外洋艇登録事務局も立ち上がり目的を達成したのでここで一旦解散することにした。作田WG長より挨拶を頂く。

作田：常任委員会のミッションが終了したので、解散することとした。

今後の登録事務は小山外洋艇登録事務局長にお願いする事になっている。

艇登録とは別の話だが、会員証に団体コードが記載されているが、外洋系と県連は変わらないが特別加盟団体のコードが会員システムと連動していない。

いきなりのシステムの変更には混乱が生じるので、規則の改正後周知の為の一定期間を設けシステムの改訂を行うとのこと。

8. その他 各委員会・WG等からの報告

・外洋計測委員会

川合：特に報告すべきことはないが、証書の発行は順調に行っている。

- ・レースマネジメント委員会外洋小委員会

三浦：合同委員会に参加して頂き感謝します。

オンライン追加資料を配布していきます。

- ・ルール委員会外洋規則小委員会

日下部：委員会ではジャッジの有効期限について議論している。

- ・国際委員会外洋小委員会

鈴木（一）：委員長が欠席の為代わりに説明する。

ミックスダブルスの世界選手権についてワールドセーリングに問い合わせをしている。

キールの脱落についてはISO122,125の改正を検討していくことになる。

- ・キールボート強化委員会

金子：ニューヨークヨットクラブで開催される、グローバルチームレースの募集を締め切り、選考が行われた。結果はHPにUPされる。

学生アンダー25は19チームの申し込みがあり12チームに絞られたが、コロナの感染拡大から3チームが辞退した。

- ・ローカルクラブレースへのJSAFアドバイザー派遣制度の構築

岩瀬：ルール委員会と協議をして資料の通り纏めた。

4月以降コロナが終息したらクラブに出かけて需要を掴みたいと考えている。

日下部：ルールのなところから協力を考えている。上からではなくフラットな目線で取り組みたい。

- ・JCIへの要望の結果

大村：JSAFから3項目の要望を出していたが、資料の通り全て認められなかった。

今後はJCIと意見交換会を行っていくことになっている。

皆さんから他に提案があればお願いします。

9. 各水域からの報告

- ・東北北海道

菊池：特に大きな動きはないが、水域推薦理事が交代となる。

- ・関東水域

新田：レースの具体的な動きはないが、4月以降に公示が出てくる予定。

東京湾のフォルテのオーナー井上氏に水域理事をバトンタッチする

平松：ゴールデンウィークのミドルボート選手権はコロナの影響で20年、21年は中止となったが、今年も昨年と同様に5月3日、4日、5日の3日間、シーボニアレガッタを開催する。

5月5日に山崎前名誉会長のメモリアルカップを開催することになった。

・東海水域

岩瀬：ゴールデンウィークに沖縄―東海レースを開催する。

坂谷：ホームページで情報を流している。今日現在エントリーが10艇。

沖縄ではコロナの感染者が一旦減少したがまた増えているので近々に最終判断をする。コロナが収まることを期待したい。

岩瀬：日本財団の補助金を受けて、「人、人、人ヨットレース」の準備を始めた。

・関西水域

安田：オミクロンで寂しい。3月にKYCウィークを計画しているがコロナで参加が少ない。ゴールデンウィークのレースに向けて準備していく。

中村（和）：ゴールデンウィークに、舵杯ヨットレース等を計画している。

10. 理事改選 選挙理事、水域理事

大村：理事候補の立候補が締め切られ、女性4名、男性6名が立候補した。

定数以内の為無投票となる。

望月：信任投票をやるのが案内されているが、内規ではやらないことになっているのでどの様にするかはまだ確定されていない。

11. 2月26日 JSAF 理事会の状況

大村常務から理事会の審議事項の内容の概略説明があった。

続いて、望月常務より協議事項「定款、運営規則及び職務規定改正案」について説明がなされた。

岩瀬理事より、「ヨット遊びしようぜ」がMJCマリン賞を受賞することが報告された。

・閉会の挨拶

中村副会長の、1月から2月にかけて予算のヒアリングで色々な委員会の方と話をさせていただいた。馬場会長のもとで皆様宜しくお願いします。

との閉会の挨拶で19:20分に閉会となった。

以上